

一般社団法人 粉体粉末冶金協会
2022 年度事業報告書

1. 集 会

(イ) 定時社員総会（定款第 18 条）

○2022 年度定時社員総会

2022 年 5 月 24 日

粉体粉末冶金協会事務局（オンライン）

出席者数：38 名（委任状出席 15 名を含む）

(ロ) 定期大会（定款第 4 条第 1 項）

○春季大会（第 129 回） 2022 年 5 月 24 日～26 日に朱鷺
メッセ新潟コンベンションセンターでの対面開催から
オンライン開催に変更し、開催した。

講演件数：146 件（受賞記念講演 7 件，特別講演 7 件，
招待講演 14 件，一般講演 118 件）

参加者数：352 名

○秋季大会（第 130 回） 2022 年 11 月 15 日～17 日に同志
社大学寒梅館において対面により開催した。

講演件数：159 件（受賞記念講演 4 件，特別講演 3 件，
招待講演 16 件，一般講演 136 件）

参加者数：405 名

(ハ) 講演会・討論会（定款第 4 条第 1 項）

① 主 催

○2022 年度粉末冶金講座

i) 粉末冶金入門講座Ⅰ

2022 年 7 月 13 日

名古屋：名古屋大学豊田講堂シンポジオンホール

参加者数：62 名

ii) 粉末冶金入門講座Ⅱ

2022 年 7 月 14 日

名古屋：名古屋大学豊田講堂シンポジオンホール

参加者数：58 名

iii) 粉末冶金基礎講座

2022 年 12 月 1 日

京都：京都 JA ビル 参加者数：66 名

iv) 粉末冶金実用講座

2022 年 12 月 2 日

京都：京都 JA ビル 参加者数：64 名

② 共 催

○第 19 回日本熱電学会学術講演会

2022 年 8 月 8 日～10 日

長岡：アオーレ長岡

主催：日本熱電学会

③ 協賛・後援

○国際ガラス年 2022（International Year of Glass2022（IYog2022））

2022 年 1 月～12 月

主催：IYog2022 国際委員会，国際ガラス年日本実行
委員会

○第 38 回希土類討論会

2022 年 5 月 11 日～12 日

熊本：熊本市国際交流会館

主催：日本希土類学会

○2022 International Conference on Electronics Packaging
（ICEP2022）

2022 年 5 月 11 日～14 日

札幌：札幌市民交流プラザ及びオンライン開催

主催：エレクトロニクス実装学会

○軽金属学会第 142 回春期大会

2022 年 5 月 27 日～29 日

オンライン開催

主催：軽金属学会

○第 73 回表面科学基礎講座「表面・界面分析の基礎と応用」

2022 年 6 月 1 日～30 日

オンライン開催

主催：日本表面真空学会

○2022 年度塑性加工春季講演会

2022 年 6 月 3 日～5 日

オンライン開催

主催：日本塑性加工学会

○生産技術特別セミナー「工作機械，切削，研削，加工計
測，設計・生産システムの基礎と最新動向」

2022 年 6 月 13 日，15 日，20 日，29 日，7 月 1 日

大阪：大阪市立大学

主催：精密工学会関西支部

○第 123 回シンポジウム「金属 3D 造形の高精度化」

2022 年 6 月 15 日

オンライン開催

主催：軽金属学会

○セラミック電子材料入門講座「セラミックスの電気特性
を測ってみよう」

2022 年 6 月 16 日～17 日

オンライン開催

主催：日本セラミックス協会電子材料部会

○第 124 回シンポジウム「衝撃工学の基礎と安全深化のた
めの軽金属工業製品への応用」

2022 年 6 月 28 日

オンライン開催

主催：軽金属学会

○安全工学シンポジウム 2022

2022 年 6 月 29 日～7 月 1 日

オンライン開催

主催：日本学術会議

- 第16回関西支部学術講演会
2022年7月1日
オンライン開催
主催：日本セラミックス協会関西支部
- 第52回初心者のための有限要素法講習会（演習付き）
第1部：2022年7月11日～12日
京都：日本材料学会会議室
第2部：2022年8月25日～26日
神戸：FOCUS（公財）計算科学振興財団実習室
主催：日本材料学会
- 表面分析実践講座2022「実践！最新走査電子顕微鏡実習 実際の作業を通して身につける最新技術」
2022年8月10日
東京：日本電子株式会社開発館
主催：日本表面真空学会
- 先端技術を支える単位操作シリーズ「粉体技術の最前線～粉碎・分級・シミュレーション～講演&見学会」
2022年8月19日
大阪：ホソカワミクロン（株）本社大会議室
主催：化学工学会関西支部
- 第58回学際領域セミナー「全固体電池の基礎から開発動向まで」
2022年8月22日
オンライン開催
主催：電気化学会関東支部
- 日本金属学会オンライン教育講座「結晶学の基礎」
2022年8月25日～26日
オンライン開催
主催：日本金属学会
- 第39回初心者のための疲労設計講習会
2022年8月30日～31日
東京：慶應義塾大学三田キャンパス及びオンライン開催
主催：日本材料学会
- 第18回アルミニウム合金国際会議（ICAA18）
2022年9月4日～8日
富山：富山国際会議場及びオンライン開催
主催：軽金属学会
- 第32回マイクロエレクトロニクスシンポジウム
2022年9月5日～7日
大阪：大阪公立大学中百舌鳥キャンパス及びオンライン開催
主催：日本化学会コロイド及び界面化学部会
- The 22nd International Vacuum Congress（IVC-22）
～Towards Game-Changing Science and Engineering for Future～
2022年9月11日～16日
札幌：札幌コンベンションセンター
主催：日本表面真空学会
- 日本セラミックス協会第35回秋季シンポジウム
特定セッション 17件
・高密度化の科学と技術 – 焼結技術の新たな展開 –
- ・水溶液プロセスによるセラミックスの精密合成
- ・先進セラミックバイオマテリアル研究のフロンティア – SDGs達成を指向した医歯工学における材料機能高度制御技術の開拓と未来展望
- ・元素ブロック材料の合成、物性および機能応用
- ・最新の耐火物技術 ～異分野融合研究創出の可能性～
- ・ナノクリスタルが拓く新しいセラミックス技術
- ・フォトセラミックス ～光と色に関わるセラミックスの合成・機能・応用～
- ・国際ガラス年記念シンポジウム2: ガラスの科学
- ・エンジニアリングセラミックスの特性制御と解析技術
- ・環境関連セラミックス科学の新展開
- ・マテリアルデザインとプロセッシングデザイン
- ・グリーン・プロセッシング（低エネルギー消費による合成法）による材料イノベーションの新展開
- ・次世代セラミックスの製造革新に応える先進粉体プロセス
- ・「組み合わせの科学」によるマルチスケール材料設計
- ・無機材料を基軸とするハイブリッド・複合材料の新展開
- ・熱エネルギーの利用と制御における材料革新Ⅲ～熱エネルギー変換・熱制御・蓄熱・超伝熱・超断熱材料の新展開～
- ・セラミックスのトランススケール解析とプロセスインフォマティクスに資する先端計測・可視化技術
- 2022年9月14日～16日
徳島：徳島大学常三島キャンパス及びオンライン開催
主催：日本セラミックス協会
- 第8回材料WEEK
2022年10月11日～14日
京都：京都テルサ
主催：日本材料学会
- 第40回初心者のための疲労設計講習会
2022年10月12日～13日
京都：京都テルサ及びオンライン開催
主催：日本材料学会
- 第35回疲労シンポジウム
2022年10月20日～21日
名護：沖縄北部雇用能力開発総合センター
主催：日本材料学会
- 日本金属学会オンライン教育講座「材料強度の基礎」
2022年10月20日～21日
オンライン開催
主催：日本金属学会
- 第31回傾斜機能材料シンポジウム
2022年10月27日～28日
壱岐：壱岐の島ホール
主催：傾斜機能材料研究会
- 第28回素材材月間事業
2022年11月1日～30日

- 主催：素形材センター
- 第74回表面科学基礎講座「表面・界面分析の基礎と応用」
2022年11月1日～30日
オンライン開催
主催：日本表面真空学会
- 第53回エンジニアリングセラミックスセミナー「セラミックスの信頼性向上に貢献するシミュレーション技術」
2022年11月4日
東京：東京大学浅野キャンパス
主催：日本セラミックス協会エンジニアリングセラミックス部会
- 日本機械学会機械材料・材料加工国際会議2022（ICM & P2022）
2022年11月6日～10日
那覇：沖縄県市町村自治会館
主催：日本機械学会
- 日本磁気科学会第16回年会
2022年11月7日～9日
習志野：日本大学生産工学部津田沼キャンパス及びオンライン開催
主催：日本磁気科学会
- 日本希土類学会第40回講演会
2022年11月9日
横浜：崎陽軒本店マンダリン
主催：日本希土類学会
- 第58回X線分析討論会
2022年11月10日～11日
姫路：イーグレひめじ
主催：日本分析化学会X線分析研究懇談会
- 第42回電子材料研究討論会
2022年11月10日～11日
東京：東京工業大学すずかけ台キャンパス及びオンライン開催
主催：日本セラミックス協会電子材料部会
- 第143回秋期大会
2022年11月11日～13日
東京：東京工業大学大岡山キャンパス及びオンライン開催
主催：軽金属学会
- 日本セラミックス協会関西支部2022年度支部セミナー
2022年11月16日
大阪：大阪大学銀杏会館
主催：日本セラミックス協会関西支部
- 日本金属学会オンライン教育講座「金属製錬の熱力学」
2022年11月17日～18日
オンライン開催
主催：日本金属学会
- 国際連携を見据えたマグネシウム・チタン若手研究会
2022年11月18日
オンライン開催
- 主催：軽金属学会
- 第73回塑性加工連合講演会
2022年11月18日～19日
仙台：トークネットホール仙台
主催：日本塑性加工学会
- 令和4年度軽金属基礎技術講座「アルミニウムの製造技術」
2022年11月24日～25日
静岡：つま恋リゾート彩の郷
主催：軽金属学会
- エコデザイン・プロダクツ&サービスシンポジウム2022（EcoDePS2022）
2022年12月1日～2日
大阪：大阪大学
主催：エコデザイン学会連合
- 2022年度早稲田大学各務記念材料技術研究所オープンセミナー
2022年12月2日
東京：早稲田大学各務記念材料技術研究所及びオンライン開催
主催：早稲田大学各務記念材料技術研究所
- 国際粉体工業展東京2022
2022年12月7日～9日（オンライン展は11月21日～2023年1月27日）
東京：東京ビッグサイト及びオンライン開催
主催：日本粉体工業技術協会
- 金属学会シンポジウム「タングステン材料科学」
2022年12月8日～9日
仙台：仙台国際センター
主催：日本金属学会
- 第31回微粒化シンポジウム
2022年12月15日～16日
習志野：日本大学生産工学部津田沼キャンパス
主催：日本液体微粒化学会
- 令和4年度第32回軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織－入門編（状態図と組織）」（第12回）
2022年12月16日
オンライン開催
主催：軽金属学会
- 第125回シンポジウム「カーボンニュートラルに向けたアルミニウム溶解工程の効率化」
2022年12月21日
オンライン開催
主催：軽金属学会
- 第61回セラミックス基礎科学討論会
2023年1月7日～8日
岡山：岡山大学津島キャンパス
主催：日本セラミックス協会基礎部会
- 第126回シンポジウム「軽金属研究のための分析・解析」
2023年1月25日
東京：日本大学理工学部駿河台キャンパス

— 4 —

機能性酸化物材料委員会	11月15日, 11月21日, 12月16日
電子部品材料	〃
遷移金属(希土類)材料	〃 11月15日～17日*
自動車焼結部品分科会	2月15日

集 会 別	総 会	定 期 大 会	講 演 会 ・ 討 論 会	分 科 会 ・ 委 員 会
回 数	1	2	65	35

*総務委員会のもと分科会組織再編検討委員会を設け、再編案を検討している。

2. 出 版 物 (定款第4条第5項)

- (イ) 粉体および粉末冶金 Vol. 69, No 4～Vol. 70, No 3 毎月15日, 合計12号 各号1400部発行。
掲載論文63件。なお、冊子体発行と同時にJ-Stageオンラインジャーナルにおいて論文の公開を行っているが、本年10月号よりオープンアクセスとし、掲載論文はクリエイティブコモンズライセンス(CC BY-NC-ND4.0:表示-非営利-改変禁止)のもとで運用される。
- (ロ) 粉末冶金入門講座Ⅰテキスト 90部発行
- (ハ) 粉末冶金入門講座Ⅱテキスト 90部発行
- (ニ) 粉末冶金基礎講座テキスト 100部発行
- (ホ) 粉末冶金実用講座テキスト 100部発行

3. 会員移動状況 (2023年3月31日現在) (定款第5条)

種 別 \ 年 度	2022 年 度 初 現 在 数	入 会 ・ 増 口	退 会 ・ 減 口	2022 年 度 末 現 在 数	+増加 -減少
正 会 員	743名	61人	76人	728名	-15人
学 生 会 員	30名	93人	87人	36名	+6人
特 別 会 員	117社 (182口)	1社 (1口)	4社 (5口)	114社 (178口)	-3社 (-4口)

4. 表 彰 (定款第4条第6項)

(イ) 令和3年度(2021年度)協会賞受賞者表彰
2022年5月24日に朱鷺メッセにおいて受賞式を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の情勢を踏まえ、参加者の安全と感染拡大防止を考慮し、オンライン(Zoom)での受賞式を開催した。

以下の8賞49名に賞牌を授与した。

功 労 賞	林 哲也	
研究功績賞	尾崎 公洋	千葉 晶彦
	水内 潔	
技術功績賞	杉本 安隆	谷内 俊之
	柳谷 彰彦	
研究進歩賞	岡田 周祐	高木 健太
	橋本 龍司	近藤 勝義
	市川 絵理	Ammarueda Issariyapat
	梅田 純子	陳 中春
	王 志磊	
技術進歩賞	鈴木 優太	今村 晋也

論 文 賞	高田 幸生	金子 裕治
	菊池 圭子	谷藤 優太
	周 偉偉	野村 直之
	川崎 亮	倉地 剛志
	小林 清	徳永 智春
	山本 剛久	斉藤 武志
	松原 秀彰	福市 安春
	梶原 太智	
新技術・新製品賞	石神 健太	橋詰 良樹
	村上 勇夫	木村 貴広
	中本 貴之	
技 能 賞	大西 正人	川上 博之
	黒崎 裕史	佐伯 徹
	佐々木光弘	瀬戸山 浩
	高松 勇治	橋本 徳雄
	藤川 健司	渡辺 裕

(ロ) 令和3年度(2021年度)査読貢献賞受賞者表彰
協会誌「粉体および粉末冶金」の編集において数多くの論

文審査を担当頂き、協会誌の刊行に大きく貢献された方に出版編集委員会から授与する賞で、以下の5名に賞牌を授与した。

査読貢献賞 阿部 正紀 井藤 幹夫
 尾崎由紀子 目 義雄
 中川 貴

(イ) 2022 年度春秋大会優秀講演発表賞受賞者表彰

○2022 年度春季大会における学生会員の講演発表に対し、以下の8名に賞状を授与した。

大宮 光貴（名古屋大学） 小田木優斗（名古屋大学）
小池 剛大（東京工業大学） 花田 滉生（大阪大学）
松坂 匡晃（大阪大学） 村松 兼志（東北大学）
山下 雄大（名古屋大学） Lieyang LI（東京大学）

○2022 年度秋季大会における学生会員の講演発表に対し、以下の15名に賞状を授与した。

青木 勇太（東京大学） 稲田 真生（同志社大学）
岩田 康希（豊橋技術科学大学） 大坂 天心（東北大学）
春日井涼太（名古屋大学） 加納 雅人（名古屋大学）
久留宮悠平（東北大学） 小池 真央（名古屋大学）
林 秀亮（名古屋大学） 桧垣 武史（九州大学）
福原 雅博（同志社大学） 眞鍋 奈央（島根大学）
村井田拓希（長岡技術科学大学） 村岡丈太朗（北海道大学）
横田遼太郎（岡山大学）

5. 庶務事項

(イ) 定時社員総会（定款第18条）

○2022 年度定時社員総会

議 事
決議事項

1. 2021 年度事業報告の件
2. 2021 年度決算書類の件
3. 役員選任の件

報告事項

1. 2022 年度事業計画ならびに正味財産増減予算の件

(ロ) 理事会（定款第37条）

○2022 年度第1回理事会

決議があったとみなされた日：2022 年 5 月 9 日

議 事

1. 2021 年度事業報告承認の件
2. 2021 年度決算書類承認の件
3. 2022 年度粉末冶金講座実行委員委嘱の件

○2022 年度第2回理事会

2022 年 5 月 24 日

京都：生産開発科学研究所ならびにオンラインにおいて開催

議 事

1. 代表理事たる会長、副会長及び常務理事選定の件

○2022 年度第3回理事会

2022 年 6 月 6 日

京都：生産開発科学研究所ならびにオンラインにおいて開催

議 事

1. 運営委員選任の件
2. 参事委嘱の件
3. 顧問委嘱の件
4. JSPMIC2022 の件
5. 2022 年度秋季大会の件
6. 2022 年度協会賞推薦委員委嘱の件
7. 2022 年度分科会活動計画の件
8. 分科会組織再編の件
9. World PM2024 の件
10. 2023 年度、2024 年度代議員定数の件
11. 会員移動状況ならびに新入会員承認の件
12. 共催、協賛の件
13. その他

①2022 年度春季大会報告の件

○2022 年度第4回理事会

決議があったとみなされた日：2022 年 7 月 20 日

議 事

1. JSPMIC2022 開催の件
2. 2022 年度秋季大会開催の件

○2022 年度第5回理事会

2022 年 9 月 9 日

京都：生産開発科学研究所ならびにオンラインにおいて開催

議 事

1. 2022 年度秋季大会の件
2. 2023 年度春季大会の件
3. 2022 年度協会賞選考委員選出の件
4. 参事交代の件
5. 第11回国際研究集会参加助成の件
6. 投稿規程変更の件
7. 粉末冶金国際会議引当資産取り崩しの件
8. WORLD PM2024 技術委員会の件
9. 会員移動状況ならびに新入会員承認の件
10. 共催、協賛の件
11. その他

①代表理事たる会長ならびに業務執行理事の職務状況報告の件

○2022 年度第6回理事会

2022 年 12 月 22 日

東京：東京国際フォーラム

議 事

1. 2023 年度春季大会の件
2. 2023 年度秋季大会の件
3. WORLD PM2024 の件
4. 2022 年度決算予想の件
5. 規程等の件

①投稿規程変更の件

②著作権規程変更の件

③情報セキュリティポリシーの件

- i) 情報セキュリティポリシー
- ii) 情報セキュリティ対策基準
- iii) 情報漏洩等の事態が発生した場合等の対応について

④定款施行細則変更の件

- 6. 日本工学会監事推薦依頼の件
- 7. 会員移動状況ならびに新入会員承認の件
- 8. 共催、協賛の件
- 9. その他

- ①2022年度秋季大会報告の件
- ②粉末冶金基礎・実用講座報告の件
- ③日本学術会議「未来の学術振興構想」の策定に向けた「学術の中長期研究戦略」の応募の件
- ④2022年度代議員選挙結果報告の件
- ⑤第15回APMA理事会報告の件

○2022年度第7回理事会

2023年3月9日

京都：生産開発科学研究所ならびにオンラインにおいて開催

議 事

- 1. 2023年度春季大会の件
- 2. 2023年度秋季大会の件
- 3. 2022年度協会賞選考結果の件
 - ①研究功績賞・研究進歩賞
 - ②技術功績賞・技術進歩賞
 - ③論文賞
 - ④技能賞
- 4. 分科会再編の件
- 5. 協会賞内規変更の件
- 6. 第12回国際研究集会参加助成事業の件
- 7. 2022年度事業報告案、計算書類案の件
- 8. 会員移動状況ならびに新入会員承認の件
- 9. 2023年度粉末冶金講座の件
- 10. 常務理事2023年度報酬の件
- 11. 2023年度事業計画案および収支予算案の件
- 12. 2023年度定時社員総会開催の件
- 13. 共催、協賛の件
- 14. その他

- ①個人情報漏洩に関する重大事態の発生の件
- ②JSPMIC2023の件
- ③WORLD PM2024の件
- ④代表理事たる会長ならびに業務執行理事の職務状況報告の件

(ハ) 監 査（定款第29条）

2022年4月18日

京都：生産開発科学研究所ならびにオンライン

2021年度（2021年4月1日～2022年3月31日）における事業報告、計算書類およびその附属明細書の監査

6. 国際交流（定款第4条第4項）

- (イ) WORLD PM2022 Congress & Exhibition（WORLD PM2022）

2年毎に開催されるWORLD PMが4年振りにEPMA（European Powder Metallurgy Association）主催により、フランス、リヨンのLyon Convention Centerにおいて2022年10月9日～13日対面開催で行われた。協会から会長、常務理事ならびに職員の3名を派遣し、同会議に参加した。同会議は、Oral 239件、Poster 37件の発表があった。会議中に国内外の参加者と交流を図った。

また会期中、EPMAとMPIF（Metal Powder Industries Federation）とAPMA（Asian Powder Metallurgy Association）による三団体会議が開催され、協会より、WORLD PM2024技術委員長ならびに常務理事が出席した。各地域の状況説明の後、日本で開催するWORLD PM2024について協力要請を行った。

- (ロ) Asian Powder Metallurgy Association（APMA）

○第15回理事会

2022年9月23日書面により理事会が開催された（議事録作成2022年10月24日）

議事：

- ①Share the annual fees of Global PM Property Database with EPMA, MPIF from 2021.
- ②2023 APMA Conference
- ③The financial report of 2021.

7. 国際会議

当協会主催または共催に係る国際会議に関し、次の通り準備を行った。

- (イ) International Conference on Powder and Powder Metallurgy, 2023, Kyoto（JSPMIC2023）

2022年11月13日～15日、同志社大学寒梅館にてJSPMIC2022の開催を予定していたが、コロナ禍において海外からの参加者来日が困難であると考え、実行委員会より2023年への延期が提案され、2022年7月20日の理事会において延期が決定した。

2023年10月16日～18日に同会場にてJSPMIC2023を開催することとなり、講演募集を12月より再開した。

- (ロ) 2024 Powder Metallurgy World Congress & Exhibition（WORLD PM2024 YOKOHAMA）

日本粉末冶金工業会と共催にて2024年10月13日～17日にパシフィコ横浜においてWORLD PM2024を開催する。2022年12月5日組織委員会を立ち上げ、会長、副会長が同委員会の委員に就任した。また、プログラム関係を担う技術委員会は当会の担当となり、委員の選出、依頼を行い、Call for Papersの作成準備を行った。

8. 国際研究集会参加助成

創立60周年記念事業の一つとして国際研究集会に参加する者に対する助成を行った。本助成は、10年間にわたり年2回の募集を行うもので、今年度は、2名の助成を行った。

第11回助成者 重田 雄二（九州大学）

第12回助成者 董 明棋（東北大学）

2022年度財務諸表等

貸借対照表

2023年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	65,346,477	72,027,038	△6,680,561
前払金	1,435,800	1,525,085	△89,285
未収金	659,065	505,230	153,835
貯蔵品	14,133	23,391	△9,258
仮払金	307,056	0	307,056
流動資産合計	67,762,531	74,080,744	△6,318,213
2 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	14,467,213	12,588,306	1,878,907
粉末冶金国際会議引当資産	1,934,905	1,934,905	0
国際フェライト会議引当資産	3,001,470	3,001,470	0
国際研究集会参加助成金引当資産	2,400,000	2,500,000	△100,000
自動車焼結部品分科会引当資産	710,750	710,744	6
特定資産合計	22,514,338	20,735,425	1,778,913
(2) その他の固定資産			
什器備品	1	1	0
ソフトウェア	178,491	312,359	△133,868
定期預金	2,460,000	2,460,000	0
投資有価証券	22,443,371	22,443,371	0
その他の固定資産合計	25,081,863	25,215,731	△133,868
固定資産合計	47,596,201	45,951,156	1,645,045
資産合計	115,358,732	120,031,900	△4,673,168
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,091,864	776,743	315,121
預り金	580,430	609,435	△29,005
未払消費税等	373,100	407,300	△34,200
前受会費	21,864,000	23,368,000	△1,504,000
前受金	2,020,345	1,921,320	99,025
流動負債合計	25,929,739	27,082,798	△1,153,059
2 固定負債			
退職給付引当金	14,467,213	12,588,306	1,878,907
固定負債合計	14,467,213	12,588,306	1,878,907
負債合計	40,396,952	39,671,104	725,848
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	710,750	710,744	6
(うち特定資産への充当額)	(710,750)	(710,744)	(6)
2 一般正味財産	74,251,030	79,650,052	△5,399,022
(うち特定資産への充当額)	(7,336,375)	(7,436,375)	(△100,000)
正味財産合計	74,961,780	80,360,796	△5,399,016
負債及び正味財産合計	115,358,732	120,031,900	△4,673,168

正味財産増減計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益	56,256,549	57,057,690	△801,141
① 特定資産運用益	62	62	0
粉末冶金国際会議等引当資産受取利息	62	62	0
② 受取入金	268,000	396,000	△128,000
受取入金	268,000	396,000	△128,000
③ 受取会費	31,410,000	31,878,000	△468,000
正会員受取会費	9,690,000	9,918,000	△228,000
特別会員受取会費	21,720,000	21,960,000	△240,000
④ 事業収益	24,041,874	24,299,397	△257,523
講演会事業収益	13,364,200	12,273,700	1,090,500
会誌頒布収益	1,141,950	1,103,235	38,715
出版物頒布収益	238,634	285,802	△47,168
掲載料収益	3,918,310	5,015,330	△1,097,020
広告収益	5,378,780	5,621,330	△242,550
⑤ 雑収益	536,613	484,231	52,382
受取利息	261,332	272,594	△11,262
雑収益	275,281	211,637	63,644
(2) 経常費用	61,655,571	55,846,059	5,809,512
① 事業費	48,510,789	44,266,765	4,244,024
役員報酬	6,300,000	6,300,000	0
給料手当	12,185,004	11,242,526	942,478
臨時雇賃金	157,500	0	157,500
退職給付費用	1,315,235	1,443,461	△128,226
福利厚生費	2,896,666	2,742,139	154,527
会議費	403,413	120,058	283,355
旅費交通費	3,147,212	511,120	2,636,092
通信運搬費	2,125,884	2,162,152	△36,268
消耗什器備品費	109,619	37,100	72,519
消耗品費	209,901	178,646	31,255
印刷費	11,241,079	10,915,795	325,284
光熱水料費	186,648	186,648	0
賃借料	783,552	809,963	△26,411
諸謝金	1,075,877	936,729	139,148
租税公課	750,000	753,800	△3,800
支払負担金	371,020	284,120	86,900
講演大会費	3,791,028	4,719,498	△928,470
協会賞費	829,400	858,000	△28,600
国際会議費	502,800	0	502,800
国際研究会参加助成金	100,000	50,000	50,000
雑費	28,951	15,010	13,941
② 管理費	13,144,782	11,579,294	1,565,488
役員報酬	2,700,000	2,700,000	0
給料手当	5,222,144	4,818,226	403,918
臨時雇賃金	67,500	0	67,500
退職給付費用	563,672	618,626	△54,954
福利厚生費	1,241,428	1,205,202	36,226
会議費	266,279	152,142	114,137
旅費交通費	751,210	132,960	618,250
通信運搬費	348,792	286,073	62,719
減価償却費	133,868	133,868	0
消耗什器備品費	46,979	15,900	31,079
消耗品費	89,977	76,562	13,415
印刷費	165,550	3,960	161,590
光熱水料費	79,992	79,992	0
賃借料	335,808	347,127	△11,319
支払負担金	61,336	62,029	△693
支払報酬	462,000	462,000	0
支払手数料	451,071	446,447	4,624
雑費	157,176	38,180	118,996
当期経常増減額	△5,399,022	1,211,631	△6,610,653
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△5,399,022	1,211,631	△6,610,653
一般正味財産期首残高	79,650,052	78,438,421	1,211,631
一般正味財産期末残高	74,251,030	79,650,052	△5,399,022
II 指定正味財産増減の部			
① 受取寄付金			
受取寄付金	0	0	0
② 特定資産運用益			
自動車焼結部品引当資産受取利息	6	5	1
当期指定正味財産増減額	6	5	1
指定正味財産期首残高	710,744	710,739	5
指定正味財産期末残高	710,750	710,744	6
III 正味財産期末残高	74,961,780	80,360,796	△5,399,016

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…購入時の取得価額によっている。(償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため、適用していない。)

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法による減価償却を実施している。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金…期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	12,588,306	1,878,907	0	14,467,213
粉末冶金国際会議引当資産	1,934,905	0	0	1,934,905
国際フェライト会議引当資産	3,001,470	0	0	3,001,470
国際研究集会参加助成金引当資産	2,500,000	0	100,000	2,400,000
自動車焼結部品分科会引当資産	710,744	6	0	710,750
合 計	20,735,425	1,878,913	100,000	22,514,338

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	14,467,213	—	—	(14,467,213)
粉末冶金国際会議引当資産	1,934,905	—	(1,934,905)	—
国際フェライト会議引当資産	3,001,470	—	(3,001,470)	—
国際研究集会参加助成金引当資産	2,400,000	—	(2,400,000)	—
自動車焼結部品分科会引当資産	710,750	(710,750)	—	—
合 計	22,514,338	(710,750)	(7,336,375)	(14,467,213)

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	2,001,900	2,001,899	1
ソフトウェア	669,340	490,849	178,491

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科 目	帳簿価格	時 価	評価損益
第40回光通信	4,000,000	3,860,000	△140,000
第3回ソフトバンクグループ	8,000,000	7,516,000	△484,000
ドイツ銀行ロンドン支店	10,443,371	9,435,000	△1,008,371
合 計	22,443,371	20,811,000	△1,632,371

附 属 明 細 書

1. 特定資産の明細は、財務諸表の注記に記載しているので省略している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	12,588,306	1,878,907	0	0	14,467,213